

上質な革をまとった大人のラップトップ。レザーはデザイン・ファンクションなんだ

パーソナルコンピューターやスマートフォンを筆頭に、いまわれわれの生活は自分の指先を通してコンピュータやAIと繋がる機会が増えている。ここで重要視されるのは、昔から言われ続けてきた「マン・マシン・インターフェイス」。そう、タッチパネルにキーボード、モバイルの筐体などなど、指先と機械の接点にエモーショナルな価値が求められる時代なのだ。まるで高級バッグのような手ざわりのラップトップの登場に、ちょっと冷静ではいられなくなった自分がある。写真/横山英雅 文/編集部

デザイナー、ステイシー・ウルフが語る。レザーの可能性とスタイリング

編集部 1年ぶりにお会いしましたね。ステイシー。このところHP製品のデザインが凄くアグレッシブに見えるんですけど。

ステイシー・ウルフ(以下SW) ありがとうございます。でもアグレッシブというよりはプログレッシブで行きたいと思っています。同時に全体としてのハーモニー(調和)は大切だと思っています。いつも新奇性が目立つ突出したデザインを目指しているわけではありません。でも、アイコンニックであることは意識しています。

編集部 ではいま、HPのデザイン部が最も重視していることは？

SW まず、われわれが創るデザインというのは人々を喜ばせるものでなければなりません。新しいことを追いかける必要はないし、ブレークスルーも必要。なのでいつも「デザイン・パッション」、つまり情熱を持ち続けることが最も重要だと考えています。

編集部 今回のレザーを大胆に使った製品が誕生した理由は？

SW このレザーバージョンはプレミアム製品です。われわれは、プレミアム製品にふさわしいカラー、そして暖かみが、パソコンの世界には無かったと感じていました。目指したのはプレミアムを革新すること、期待を超えること、そして新たな創造です。このデザインから、人間の味のようなもの(ヒューマンタッチ)を感じてもらえたら嬉しいです。同時に手ざわりだけではなく、人間の五感で感じて欲しい。見た目も、そして匂いも。

編集部 デザインのキーワードは？

SW この製品が最もユニークである点は、ノートブックPCをレザーで包んだのではなく、レザーで作った製品、ということなんです。その辺がキーワードになってくるのではないのでしょうか。そして製品をよく見て欲しいのですが、ラグジュアリーカーの革シートのように丁寧に細かなステッチや、閉じた状況での全体の滑らかなスタイリングは、特に

意識して作り上げてきました。**編集部** メゾン系ブランドのハンドバッグや家具にも通じるものがある？

SW そう。大切なのはレザーで包むのではなく、レザーで作ること。レザーをファンクションとして捉えている、と理解していただければいいと思います。

編集部 ファンクション？

SW よく見てください。この画面の開閉もレザーを使うことでスムーズに動く仕掛けになっているんです。どんなポジションでも使いやすい。たとえばノートブック、メディア、タブレット、どんなポジションでもレザーがあることでそれがきちんと機能するために収まっています。実はそれぞれのポジションを保持するために40以上のマグネットが使われていて、スムーズなポジションチェンジを可能にしているのです。開発には2年を要しましたよ。

編集部 将来的な話になるかもしれませんが、デザインが進化して

かなり高いレザーなんです。**編集部** 最後に日本のユーザーにひと言

SW 日本のユーザーというのは世界的に見ても、とてもディテールにこだわる、非常にこだわりの強いユーザーだと思っています。そんなシビアな目のユーザーたちにも、きつと満足いただける製品になったと思っています。是非、製品を手にとってみていただきたいですね。あと、完成したら嬉しいですね。(笑)

いくと次はアートとの融合性というのにもなります。**SW** その通りですね。実はグッドデザイン賞のベスト100にも選ばれました。そういう可能性もあるかもしれません。

編集部 今回はレザー製品とコンピューターの融合というところで、熱の問題とか耐久性の問題がちょっと気になりますが、何か対策は？

SW ふふふ、その質問に対する答えは持っています。(笑)。実は、レザーは通気性があるので、金属のものより熱伝導を抑えることができるんです。さらに、この製品に使われているのは、クローム鞣しのナチュラルレザーです。多くのハンドバッグや高級車のレザーもそうです。ベジタブル・タンニングのものとは違い、他のものと擦れ合っても汚れることが少ないんです。シミも付きにくいし、実は濡れにも強い。革製品ではエッジの処理が大切なのですが、その辺りもちゃんとしているでしょう？ つまり耐久性が

HP Spectre Folio 13

第8世代インテル®Core i5及びi7プロセッサ(Yシリーズ)搭載。13.3インチ・フルHD・IPSタッチパネル。



←メディアモード



メディアモードでは膝の上でPCが安定するようキーボードの収納が可能。タブレットモードでは筆圧と傾き検知に対応した「HPアクティブペン2」を採用しスムーズな手書き入力を実現。PCに新しい価値観を与える素晴らしいレザーの手ざわりは感動的だ。高級メゾンの革製品を思わせる完成度の高さで、PCがひとつ上の次元のツールになった。価格18万3384円。



Stacy Wolff

HPデザイン部最高責任者(Global Head of Personal Systems Design)。今回の製品に関しては「人の行動に基づいたデザイン設計」、「プレミアムな素材」、「時を超え色褪せない」というデザインコンセプトを打ち出した。



フォリオモード ノートブックモード メディアモード タブレットモード



どんなポジションでもスムーズな切り替えが可能。実際に触ればレザーはファンクションだというのがよく判る。

カラーはコニャックブラウンとボルドーバーガンディー。レザーの色で本体カラーを変えているこだわりも凄い。